

添乗時のやり取りは全て記録される！

ボーナスカット裁判 シリーズ③

会社提出書面と管理者の陳述書には「運転整備終了後の助役と運転士の会話」が書かれている。その中身を明らかにする(会社準備書面から転記)

(運転整備終了後、16号車運転台にて)

管理者：しっかり基本動作集もう一度確認してくださいよ。では行きますよ。最初に搭載品の確認で『工具箱鎖錠よし』を『よし』とだけ1号車16号車共にです。

運転士：はい。

管理者：2つ目にこれも同じで(両運転台)『非常灯電源よし』を『非常灯よし』。必ず、電源を入れて点灯するかを確認するから電源よしと喚呼するんでしょ。

運転士：はい。

管理者：次にハンドメガホンもそうです。『ハンドメガホンよし』になっていましたよ。『ハンドメガホン電源よし』ですから。

運転士：はい。

管理者：両運転台とも出来ていませんからね。

運転士：はい

管理者：後、ひどいのは、列車番号、始発駅の再確認を忘れています。計3回確認するんですが、後部運転台から出る時の確認ができていませんでした。携帯品の確認の前にしっかりやってください。

運転士：忘れたかも、

管理者：忘れないように、基本動作覚えてください。

管理者：最後に16号車の緊急ブレーキリセット後、2回ともですけど、ブレーキハンドル7ノッチ位置と喚呼していましたが、『B7よし』ですから、

運転士：はい。

なんか変だな～。ここまで詳しく書かれた「手控えメモ」って本当にあるのかな～？

もしかしてパソコンに入力する時に話を脚色する、あるいは誇張された文章に書き直されているのか、あらぬ疑いをかければ録音でもしているのか？と勘繰りたくもなる。まるで管理者の意のままに作った文章としか思えない。

皆さん、運転台での管理者とのやりとり、その場だけでの会話と思ったら大間違いだ。

すべてが文章として記録され存在している事実を心得るべきだね！